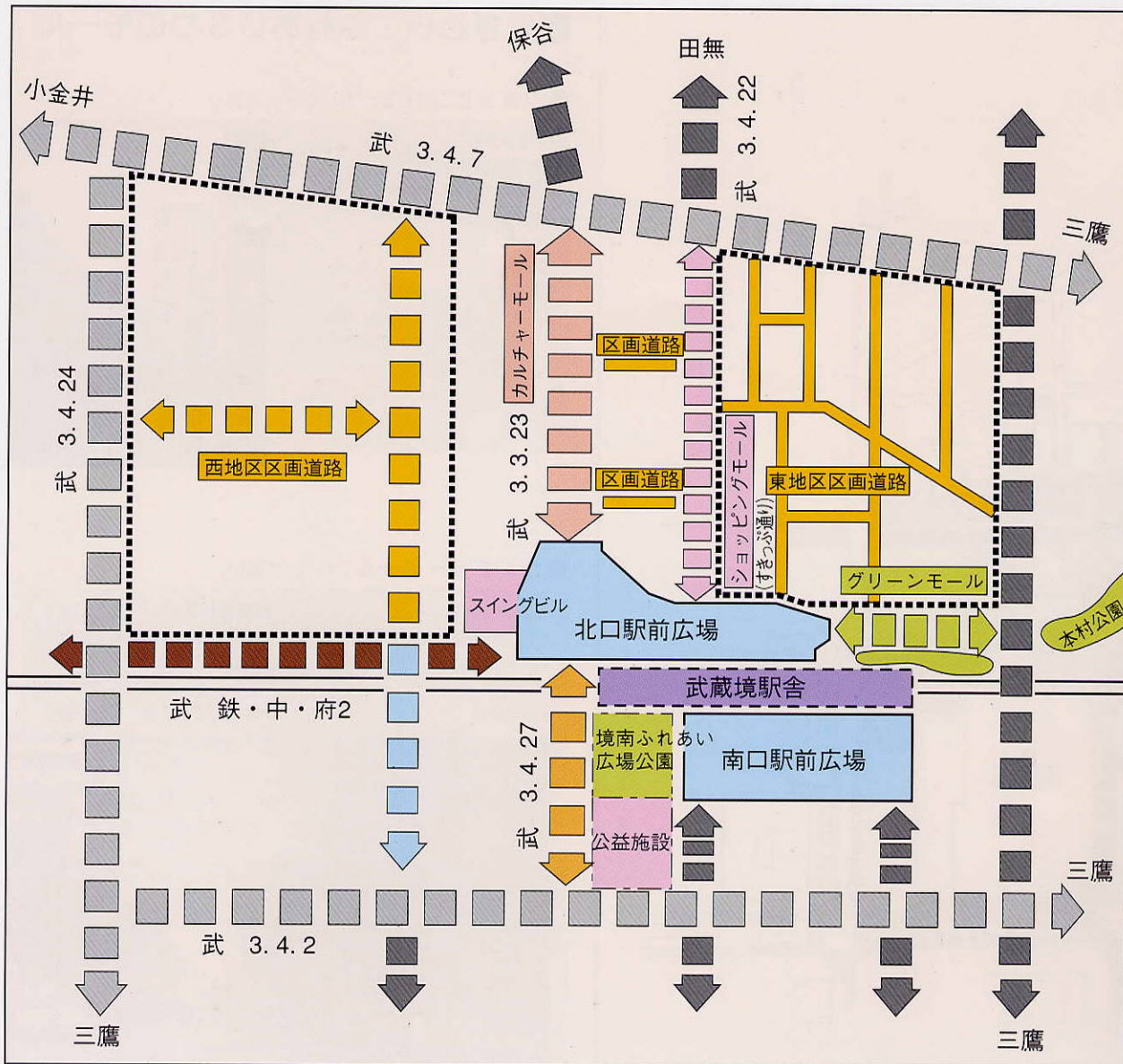


道路整備の考え方



●モール化計画

地区整備にあたっては、人間的な魅力あふれた街を実現するため、すでに完成しているショッピングモール、カルチャーモールに加え、グリーンモールの3つのモール化事業を進めました。

この計画は各々のモールに特徴と連帯性を持たせ、現代生活に対応したまちのシンボルとなるように整備しました。

●区画道路整備計画

都市の骨格をなす都市計画道路の整備を進めるとともに、適正な土地利用の促進と防災機能の向上を図るため、区画道路計画を検討し、段階的に整備を進めています。

その第一段階として、カルチャーモールとショッピングモールを結ぶ2本の道路(かんざし道路)、第二段階にグリーンモール、第三段階に東地区の8本の道路、第四段階として西地区に2本の区画道路を道路法に基づく認定を行い、現在整備を積極的に進めているところです。

●都市計画道路の整備

武蔵境駅周辺の都市計画道路の整備を進めます。

【武3.4.27】

カルチャーモールの延長として、駅の南北を結ぶ境らしさを持った歩行者優先のアメニティ道路として整備します。

【武3.4.24】

南北市街地の通行の円滑化や武蔵境駅へのアクセシビリティの向上を図ります。また、道路整備にあわせて店舗の共同化など沿道の商店街の再整備を進めます。

【武3.4.2】

武蔵境駅へのアクセシビリティの向上を図ります。また、道路整備にあわせて店舗の共同化など沿道の商店街の再整備を進めます。

【武3.4.7】

歩道のモール化を進めました。このモールはアクティブなモール化を基本方針に、身近で活力ある商業活性化とストリートファニチャーによる商店街の分断化防止、新しいまちの「顔づくり」を目指して整備しました。